

8

農地転用状況

(単位:件, a)

区分 年度	総数		住宅用地		工場用地		その他の建物用地		公共用地		その他	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成19年	138	1,312	60	280	3	132	13	86	20	418	42	396
平成20年	165	1,685	83	361	1	5	15	101	20	779	46	439
平成21年	204	1,712	96	402	0	0	14	311	59	758	35	241
平成22年	141	1,286	65	306	3	74	14	200	21	248	38	458
平成23年	148	1,251	75	351	2	14	16	247	22	266	33	373
平成24年	182	1,678	86	412	2	18	18	192	12	123	64	933
平成25年	166	1,171	74	283	1	8	18	149	16	194	57	537
平成26年	158	11,610	62	241	2	6,690	5	2,794	15	159	74	1,726
平成27年	165	1,854	83	300	57	786	5	29	10	529	10	210
平成28年	184	2,579	82	272	48	1,192	23	120	13	770	18	225
平成29年	180	2,168	66	244	5	615	15	84	15	44	79	1,181

資料:農業委員会

平成27年農林業センサス結果(茨城県結果)

～5.0ヘクタール以上の大規模な農業経営体が増加～

〈茨城県〉

農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、5.0ヘクタール未満の階層では0.3ヘクタール未満を除き、前回と比べすべて減少し、5.0ヘクタール以上の階層ではすべて増加した。

また、全体に占める割合で見ると、0.5～1.0ヘクタール階層29.54%、1.0～1.5ヘクタール階層18.36%、0.3～0.5ヘクタール階層14.44%の順で高くなっている。

～0.5～1.0ヘクタールの構成割合が最大～

〈地域別〉

経営耕地面積規模別経営体数の構成割合を地域別にみると、すべての地域で0.5～1.0ヘクタール階層の占める割合が最も高くなっている。

また、経営耕地面積が5.0ヘクタール以上階層の構成割合を地域別にみると、鹿行地域が7.62%、県南地域7.35%、県西地域7.29%、県央地域5.47%、県北地域2.60%となっている。

資料:いばらき統計情報ネットワーク

2015年農林業センサス結果の概要(確定値)より